

ISFJ Inter-university Seminar for the Future of Japan

ISFJ2019 中間カンファレンス 活動報告書

文責：鈴木 美香子

【日時】

2019年8月4日(日)

【会場】

明治学院大学白金校舎

【参加】

11 大学 19 研究会 13 分科会 45 チーム

【概要】

12月7日、8日に開催される政策フォーラムに向けた論文作成に取り組む初段階の企画として行われました。本企画は、参加者の皆様が研究期間として利用されるであろう夏期休暇の時間を有効に活用することのできるよう、論文のテーマ・方向性の修正、決定する事を目的として開催いたしました。その際、有識者の方々から専門的な知識をもとにご講評頂く事によって、新たな課題や問題点を発見し、より具体的で現実的な政策立案方針を考える場としてイベントを提供いたしました。

【企画内容】

ISFJ2019 中間カンファレンスは、上記の企画趣旨に示したように、有識者の方にご講評を頂くことによって1年間の論文執筆の方向性を決める役割を担うイベントです。このため、本企画では参加者の皆様に発表を行っていただき、その発表を基にして考察や修正をしていく形となります。各研究 15 分程度の発表時間の中で、現状分析・先行研究・問題提起の3点をプレゼンテーション形式で参加者に発表していただき、その発表を受け質疑応答を行いました。その後、参加者の皆様が正しい方向性で論文執筆が進められるよう、コメンテーターの皆様に助言をして頂く時間を10分ほどとりました。最後に各チーム意見シートを交換し、コメンテーターの皆様から総評をいただきました。

【責任者総評】

本イベントでは、各研究班の初期段階となる現状のアイデア・発表を行って頂きました。そのため参加者様にとっては研究の方法や政策の方向性について不明瞭な点や、政策立案を考えるにあたって迷っていた問題点などの発見、またその発見から研究活動の軌道修正を試みる機会となった様です。中には既にデータなども取得をしており、既に研究の方向性が固まりつつある研究班も見られました。また、研究が既に進められている研究班におきましても、コメンテーター様のご教示によって理解を深められた事と感じております。今後の特に夏期間の研究に向け、充実したイベントであったと感じております。なお、今回の中間発表会におきましては、一部会場で機械設備のトラブルによる時間の遅れが生じ、コメンテーターの皆様および参加者の皆様には多大な

る御迷惑をお掛け致しました。深くお詫び致します。これからも円滑なイベント運営に努めるとともに、参加者の皆様の研究活動を様々な面からサポートすべく活動して参ります。